

東京佼成ウインドオーケストラ

8月29日（土） 19：00 開演 群馬音楽センター

全席指定 S席2,500円/A席2,000円/B席1,500円/学生500円（B席のみ）

プログラム

1. アルメニアン・ダンス パートI / アルフレッド・リード
2. セレナーデ・ロマンティック / ジョセフ・トゥリン
3. 舞楽（東京佼成ウインドオーケストラ委嘱作品 / ドナルドグランサム
4. シナモン・コンチェルト / マーティン・エレビー
5. ルクス・アルムクエ / エリック・ウィテカー
6. サスパラリ / ジョン・マッキー

東京佼成ウインドオーケストラ

1960年5月、立正佼成会附属の佼成吹奏楽団として結成、1973年に東京佼成ウインドオーケストラと改称し、現在に至る。

歴代常任指揮者に汐澤安彦氏、宇宿允人氏、平井哲三郎氏らが名を連ね、1984年にはフレデリック・フェネル氏（1914-2004）が、2000年には



ダグラス・ボストック氏（現・首席客演指揮者）が就任し、2010年よりポール・メイエ氏が首席指揮者に就任予定。

国内における公演数は、定期演奏会をはじめ地方公演、学校音楽鑑賞教室、福祉訪問コンサート、バンド・クリニックなど、年間100回を超える。録音活動では現在までに300種以上のCDをリリース。さらに近年は、TV出演により各方面から大きな注目を集めている。海外における公演は、1989年に楽団初のヨーロッパ公演を成功させて以来、多くの音楽祭から招聘されているとともに、この分野の新しい作品発掘の一助となっている。

この楽団に対する期待と注目は、ウインドミュージック（吹奏楽）という分

野における礎の確立のみならず、そのさらなる進化や発展への貢献など枚挙にいとまがない。

指揮者

渡邊 一正 *Kazumasa Watanabe*

東京生まれ。1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。1996年からは東京フィルハーモニー交響楽団の指揮者に就任し、現在に至る。また1995年から2002年まで広島交響楽団正指揮者も歴任。1998年にはNHK交響楽団の指揮台に初登場し、それ以後オーチャード定期（2003年）、NHKホール定期（2006年）を始めN響とは定期的に共演を重ねている。2000年には第69回日本音楽コンクール作曲部門本選会の演奏に対しコンクール委員会特別賞を贈られる（オーケストラ：東京交響楽団）。その他の日本国内のオーケストラとは読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団を始め主要なオーケストラに定期的な客演を行ない、その音楽性と指揮に対する信頼を確実に得ている。



オペラ、バレエでの活躍も目覚しく、新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」を、同劇場バレエ団では「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年11月には「白鳥の湖」の新演出の指揮も行い、大成功を収めた。

また彼の指揮活動は国内だけにとどまらず、海外でも2003/04年シーズンにはサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、確実にキャリアを積んでいる。

ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団とハイドンのピアノ協奏曲を協演。87年から89年には渡欧し、ダルムシュタット音楽アカデミー、ハンス・ライグラフ教授のマスター・クラスでピアノを学ぶ。その後東京フィル定期、広島交響楽団定期、大阪フィル、札幌交響楽団などのオーケストラと、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番、第5番「皇

帝」、ラヴェル、モーツァルト、ガーシュウィンなどの弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も評価されている。

コンサートマスター

須川展也 【サクソフォン】

東京藝術大学卒業。第 51 回日本音楽コンクール管楽器部門 1 位なしの 2 位、第 1 回日本管打楽器コンクール・サクソフォン部門において第 1 位を得てデビュー。94 年村松賞、出光音楽賞受賞。98 年 JT の CM に出演し人気を得る。メディアに多数出演し、02 年 4 月より NHK 連続テレビ小説『さくら』のテーマ音楽も演奏。

年間公演数は約 100。海外でも精力的に活動しフランス、イギリス、ドイツ、アメリカ、カナダ、中国、韓国等多くの国で演奏している。03 年ウィーン・ムジークフェラインでのリサイタルが大成功をおさめる。

CD リリースは 30 枚近くに及び 08 年、avex-CLASSICS と英・CHANDOS よりオーケストラとの共演によるソロ・アルバムをリリース。09 年 5 月 27 日、avex-CLASSICS より自身がコンサートマスターを務める東京佼成ウインドオーケストラとの共演で最新アルバム「ヴィルトゥオーゾ・コンチェルト」をリリース。好評を得ている。

サクソフォン四重奏団「トルヴェール・クワルテット」のメンバー、ヤマハ吹奏楽団常任指揮者。

近年作曲家への委嘱も積極的に行い、吉松隆、西村朗、本多俊之、E. グレグソン、真島俊夫、M. エレビー各氏等に依頼、サクソフォン音楽の発展に力を注いでいる。

クラシック・サクソフォンの可能性を追求し自由なスタンスで活動、サクソフォンを学ぶ若者たちの憧れの存在となっている。

